

コミュニティ だより

徳島市
徳島市コミュニティ協議会
徳島市幸町2丁目5番地
TEL(088)621-5510
FAX(088)621-5511

100周年を迎えて



徳島市長 遠藤 彰良

明けましておめでとございます。
新しい年を穏やかに迎え
のことと謹んでお慶び申しあ
げます。

皆さま方には、日頃よりコ
ミュニティ活動に深いご理解
と多大なるご尽力をいただき
「コミュニティだより」をお
借りし、心よりお礼を申しあ
げます。

さて、我が国では外国から
の観光客が増加する中、本年
七月には「東京オリンピック」

パラリンピック」の開催を控
えており、日本全体に大きな
インバウンド効果が期待され
ています。

徳島市といたしましても、
まちの活性化に向け、こうし
た機会をチャンスと捉え、本
市の魅力アップを図り、積極
的にアピールしていくことで
戦略的なインバウンド誘客に
取り組んでまいりたいと考え
ております。

また、このように社会環境
が目まぐるしく変化する中、
活力ある地域社会を持続する
には、将来を担う子どもたち
の育成や災害から市民の命を
守るため防災対策の強化に力
を注ぐ必要があります。
こうした中、徳島市では多

くの人にそこに住みたい、住
み続けたいと思っていただけ
るまちづくりを目指し、その
道しるべとなる「徳島市まち
づくり総合ビジョン」に沿っ
た様々な施策を推進していま
す。しかしながら、これらの
施策の推進には、地域コミュ
ニティと行政がまちづくりの
パートナーとして、より一層、
協力関係を深めながら地域特

新年のご挨拶

徳島市コミュニティ連絡協議会



会長 島田 和男

なり、また雨の降り方や台風被
害も想定外が頻発しています。

これらのことはすべて地球
の温暖化に起因していますし、
このまま温暖化が進めば自然
災害は日常茶飯事となり、ひ
いては地球上に人類が住めな
くなる恐れがあります。

このような中、すい星のよ
うに現れたスウェーデン人の
十六歳の少女「グレタ・トゥー
ンベリ」さんが、国連の各国
の政治家に向けて経済成長ば
かりでなく環境問題にも積極

性に応じたきめ細やかな地域
づくりを進めることが必要不
可欠であります。

どうか、皆さま方の一層の
ご支援とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さま
方にとりまして実り多い幸せ
な年となりますよう心からお
祈り申しあげまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

的に対策をとるよう訴えてい
ます。科学者が今までに何度
も何度も警告を発したにもか
かわらず政治家は積極的な対
策を講じず、また指導者に一
国主義者が台頭し、まともら
なくなりました。彼女は業を
煮やし学校を休んで国会前で
座り込みをしながら訴え続け
たので、同調者が次々と現れ
世界で四百万人の若者が環境
対策を行うようデモ行進をし
たそうです。

高温による自然発火や焼き
畑により森林が焼失し、アマ
ゾン流域では百カ所以上のと
ころで火災が発生しているそ
うです。地球を保護している
大気が失われ、ますます温暖
化が進み灼熱地獄となりかね
ません。

我々も、地球や子孫を守る
ため環境に気を付け、できる
だけごみを減少させ地球の現
状を良くしていきたいもので
あります。

最後になりましたが今年も
コミュニティ活動がスムーズ
にいけますようご協力をお願
いするとともに、会員各位に
とりましてより良い年となり
ますようご祈念いたしまして
新年のご挨拶いたします。

地域貢献高齢者顕彰

令和元年十月一日に開催された置市記念式典において、徳島市地域貢献高齢者顕彰制度に基づき、日ごろから地域のコミュニティ活動に貢献されている方々に対し、遠藤彰良市長から感謝状の贈呈が行われました。

市長からの祝辞の後、受賞者を代表して佐古コミュニティ協議会の杉本文男氏より謝辞が述べられました。顕彰されたのは次の方々です。



地域貢献高齢者顕彰記念 令和元年 10月1日

内町まちづくり協議会

四宮 裕之

新町コミュニティ協議会

福田 輝好

西富田コミュニティ協議会

田村 英雄

昭和コミュニティ協議会

河村 健治

渭北街づくり協議会

千葉 利一

佐古コミュニティ協議会

杉本 文男

沖洲コミュニティ協議会

伊丹 義弘

津田コミュニティ協議会

奥田 亨

加茂コミュニティ協議会

山田 稔

八万町各種団体連絡協議会

佐野 泰義

八万中央コミュニティ推進協議会

林 文雄

八万コミュニティ推進協議会

吉見 眞生

勝占東部コミュニティ協議会

原田 進

多家良地区連合協議会

大谷 尚召

多家良中央コミュニティ協議会

丹崎 征治

丈六コミュニティ協議会

柏木 貞雄

不動コミュニティ協議会

井原 勝

上八万まちづくり協議会

久保 昭

一宮下町まちづくり推進協議会

佐々木永薫

川内まちづくり協議会

春藤 正

川内南コミュニティ協議会

河井 宏紀

国府コミュニティ協議会

田中 久雄

南井上コミュニティ協議会

箕手 壽子

(以上行政区順)



佐古コミュニティ協議会

杉本 文男

本日受賞の皆さまを代表して一言お礼のご挨拶を申し上げます。

顕彰された皆さまは、各地域のコミュニティ活動を通して地域のため社会貢献をされたことと存じます。

私も五十代前半より町内会長、民生委員、自主防災会等をつとめ地域活動に参加させて頂きいただきました。

このところ、必ずや起こるであろう南海大地震などの災害に対して、地域のきずなが大切に思われます。

今回このような活動を評価していただきましたことは、望外の喜びと深く感謝申し上げます。

終わりになりますが、徳島市および各地域のますますのご発展を心からご祈念申し上げます、お礼のことばとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



佐古コミュニティ協議会 杉本文男氏

本年もよろしく

お願いいたします

沖洲コミュニティ協議会

会長 三栖谷高照

津田コミュニティ協議会

会長 島田 和男

加茂名まちづくり協議会

会長 宮本 昌美

加茂コミュニティ協議会

会長 高島 稔之

八万町各種団体連絡協議会

会長 矢田 嘉昭

八万中央コミュニティ推進協議会

会長 露口 玲子

八万コミュニティ推進協議会

会長 福山 啓子

勝占地区コミュニティ連合会

会長 田中 稔

勝占中部コミュニティ協議会

会長 竹内 鋭治

勝占東部コミュニティ協議会

会長 谷口 榮一

多家良地区連合協議会

会長 好田 建治

多家良中央コミュニティ協議会

会長 橘 榮一

丈六コミュニティ協議会

会長 梅本 辰雄

不動コミュニティ協議会

会長 大川 良文

入田町まちづくり協議会

会長 森 政雄

上八万コミュニティ連合協議会

会長 福井 利興

第二十八回徳島市コミュニティまつり模様

佐古コミュニティ協議会

事務局 舟井 美紀

令和元年十一月十日、徳島市コミュニティまつりが佐古コミュニティセンターにおいて開催されました。

担当は第三ブロックの加茂・加茂名・佐古の三協議会で、佐古コミュニティセンターでの開催は十六年ぶりです。年度当初より地域団体に協力を依頼し、市民協働課を含めた実行委員が何度も話し合いを持ち、準備を進めてまいりました。



開会式

前日の九日に皆さまにお手伝いをいただき、駐車場にテントを六基建て、愛日ホールには百五十席の会場を作りま

した。佐古コミュニティセンターは、駐車場が少ないため、少し離れた佐古小学校の運動場をお借りし、駐車場までの道にはのほりを立て、気分は徐々にお祭りモードです。準備の最後は、演芸大会のリハーサルです。音楽をかける方、アナウンスをされる



万年山ウォーク

方、皆さまの緊張がこちらにも伝わってきて、明日への期待と不安でいっぱいになりました。

佐古小学校を集合場所として、万年山ウォークを行いました。佐古小学校から三百メートル南へ行くと、国指定史跡の徳島藩主蜂須賀家墓所へと続く墓所登り口があります。佐古文化財ボランティアガイドの方の説明を聞きながら墓所を巡りました。この



演芸大会「ハーモニー佐古」

ウォークに際し、二週間前に佐古公民館と佐古愛護連絡会が計画をし、佐古の町民に募集をかけ万年山清掃を行って準備をしていただきました。

愛日ホールでは、各地区の選りすぐりの出演者たちによる演芸大会で、二十三の演目を披露していただきました。

オープニングは佐古小学校合唱部、トリは佐古小学校の保護者と保護者OBで活動するおかあさんコーラス「ハーモニー佐古」の歌声で、盛り上がりしました。

最後は恒例のお楽しみ抽選会でたくさんの方に集まっていたいただきました。大盛況のうち第二十八回徳島市コミュニティまつりを終了することができました。

おわりに、みなさまのご支援・ご協力と、コミセン周辺の皆さまのご理解により無事盛大に終了することができました。この行事が地域の人の交流のきっかけとなり、人と人との温かいつながりの地区になることを期待します。

- 上八万まちづくり協議会 会長 阿部 増江
- 一宮下町まちづくり推進協議会 会長 祖川 信明
- 川内まちづくり協議会 会長 植田 和則
- 川内南コミュニティ協議会 会長 坂東 敏夫
- 応神町コミュニティ協議会 会長 玉置 勇次
- 国府コミュニティ協議会 会長 藤村 俊治
- 新町コミュニティ協議会 会長 前川 佳弘
- 西富田コミュニティ協議会 会長 岩佐 重明
- 東富田コミュニティ協議会 会長 松ノ内 清
- 昭和コミュニティ協議会 会長 松岡 勤
- 渭東コミュニティ協議会 会長 中嶋 修三
- 住吉・城東地区まちづくり協議会 会長 浜田 耕市
- 渭北街づくり協議会 会長 近藤 辰夫
- 佐古コミュニティ協議会 会長 吉田 紘
- 南井上コミュニティ協議会 会長 松島 孝昌
- 北井上地区コミュニティ協議会 会長 前川 俊治
- 内町まちづくり協議会 会長 宮澤 武志

(順不同)

「大岡川さくら緑地を育成する会」の活動について

大岡川さくら緑地を育成する会 会長 川原 孝文

★発足の経緯

二〇一一年二月、住吉・三島にかけて大岡川東岸に地域住民の憩いの場、交流の場としての遊歩道が完成。

地域住民のボランティア活動を主体に、花木を植栽し、美しい花の道（フラワロード）をつくりたいとの趣旨で「さくら緑地を育成する会」発足。参加と協力を呼びかけ



2019年4月 大岡川東岸

現在百五十名の会員数です。

二〇一一年三月五日「紅豊（べにゆたか）」という品種の桜を神山町より取り寄せ、十本の苗木を会員・城東小学校の児童と一緒に植樹。地域の皆さまに愛されるようにとそれぞれに桜に、住吉一・二・三・四・五・六丁目、城東町一・二丁目、城東小学校児童、住吉・城東コミセンと書いた名札を付けました。

さくら紅豊の蕾は大きくその名前のとおり紅色のやわらかい花びらのとても品のある桜です。

★活動について

二〇一一年六月第一回の総

会を開催し協議。四班編成での除草作業と今後のさらなる植樹と美化作業を決めました。七月と九月に除草作業をしました。十二月には、さざんか（十二月頃開花）十本、シャリンバイ（五月頃開花）百三十二本を植樹。二〇一八年には十一本のさくら紅豊を新たに植樹し、計二十一本の紅豊の県下の名所になると思います。

★「紅豊 花見の会」開催について

小さかった苗木が、はや二年で倍以上に成長し、紅紫色の美しい色合いで満開のときを迎えた二〇一三年三月「第一回紅豊 花見の会」を開催。婦人会・さくら緑地を育成する会、町づくり協議会の役員の方々の協力のもと、「さくら餅と昆布茶」のお接待を用意し、老人会の皆さまも招待し、大変喜んでいただき、百五十名の地域の皆さまが花見に参加いただきました。その後、毎年の春の恒例行事として、三月末〜四月初めにかけて「紅豊 花見の会」

を開催。二〇一六年四月「第四回の花見の会」では、住吉音頭を守る会メンバーとともに住吉音頭踊り、地域交流の機会になっています。

二〇一七年四月の第五回の会には地元城東小学校の校長先生・新六年生を招待し「俳句を詠む会」の方々、児童・参加者でさくらの俳句を詠んでもらいました。二〇一九年四月第七回の花見には神山町の桜を守る会の方も参加くださり、交流を深めました。

★植樹記念碑の建立について

二〇一一年三月五日「さくら紅豊」植樹を後世に残す意義を込め「さくら紅豊並木」植樹記念碑を建立し、二〇一六年五月八日除幕式・記念撮影会を行いました。

★「大岡川さくらキラキラロ

ド」と命名
二〇一五年地域の皆さまに愛される癒しの遊歩道の名前を募集。城東小学校四年生の皆さんに授業で協議していただき、「大岡川さくらキラキラロード」の提案をいただき、検討し決定しました。
今後地域の方々の絆づくりの場となるように、桜の成長を見守ってまいります。（住吉・城東地区町づくり協議会）



「紅豊 植樹記念碑」除幕式

平成28年5月8日 大岡川東側緑地

「阿波人形浄瑠璃」伝統芸能を継承

コスモス座 南 カズエ

私たちの国府町は歴史と文化の町として阿波人形浄瑠璃を支えていた初代天狗久をはじめ、優れた人形師が多く活躍した町です。このような伝統文化を次代に担う子供たちに継承していくことを目的として平成十年に「国府歴史と文化の伝承会」が発足しました。

初代天狗久の一生を紙芝居として作成し、学校や地域で披露したのが初めての活動でした。続いて人形座を作ろうとの機運が高まりバザー等での資金を集め始め、五年がかりでやっと木偶の購入にこぎつきました。伝承会の有志で「コスモス座」を立ち上げ人形浄瑠璃講座や県教育委員会主催の阿波人形浄瑠璃伝承教室等を受講しながら研鑽を重ねました。平成十八年には、国府小学校に人形浄瑠璃クラブ

ブを作っていたいただき、コスモス座のメンバーが月に一回指導を行っています。重くて難しい人形の操りに子供たちが熱心に取り組む姿に私たちがパワーをもらっています。発表の場は考古資料館の「文化財まつり」と「天狗久まつり」です。親や地域の人が見ている場で堂々と演じるこ

とができるようになります。終了後は「緊張したけれど楽しかった」と達成感を味わって輝

いています。

二年前からは、小学校の依頼で三年生のオープンスクールも担当することになりました。人形浄瑠璃の歴史や人形の仕組みを学び、公演を見た



国府小学校人形浄瑠璃クラブ

後で頭、手、足などを操る子、黒頭巾を被り高い下駄を履いて歩く子、木偶のカラクリに触れて驚く子など、室内は感動に包まれて楽しい時間を共有しています。

コスモス座が発足して十三年が過ぎました。座の誇りは、チームワークの良さで情熱です。人形遣いは、一体の人形を三人で動かすので、三人の息を合わせることが最も大切です。人形の役柄を理解し、その人物になりきって命を吹き込みます。生きているように動かすため、日々努力です。上手に表現できると喜びがあります。人形浄瑠璃の魅力や楽しさを味わいながら、伝統



オープンスクールの様子

芸能の灯を消さぬよう、未来を託す子供たちに伝承していきたいと思えます。

(国府コミュニティ協議会)



上八万地域の新たな取り組み

上八万まちづくり協議会

会長 阿部 増江

時は流れ、平成二十七年上八方に南環状道路が開通してはや四年。令和の時代に入りますます車の通行量も多くなってきました。また、時代とともに高齢者もだんだん増えていきます。

最近、車を運転中のご高齢者のブレーキの踏み違い等をよくテレビで見ますが、他人ごとでは無いと痛感します。今は感じていなくても、車の免許証返納の時が必ずきます。

上八方は交通不便地区といわれています。公共バスの便数が少なく、バス停も遠いのが現状です。

もしそんな時に家の近くをコミュニティバスが通り、病院、買い物等に行けたらとの思いから三年前、徳島市の「新たな地域自治協働システム構築に向けたモデル地区の募

集」に手を挙げて自主運行バスに取り組んできました。

上八万バス検討会を立ち上げ、徳島市のご指導のもと十八地区全世帯にアンケート調査をし、町民の声も聞かせてもらいながらコミュニティバ



上八万コミュニティバス「のったるう」

ス運行計画案を作成し、それに基づいて進めております。運行開始予定は、令和二年四月一日(水)です。現在、運行ルート、運行車両も決まり(ジャンボタクシー九人乗りです。)昨年九月二十七日から十月九日まで、試験運行を行いました。この試験運行は、町内会長さんのご協力のもとで一日三往復、最後まで満員でした(乗車人数二百三十人)。

試験運行でもアンケートを取りました。今春の本格運行へ向けての参考資料にしていきます。

上八万地域は、みんなが力を合わせて協力してくれる町です。

昨年十月十三日は町民運動会でしたが十八地区全参加で競い合い、楽しく和気あいあいに行

われました。

このような地域ぐるみの取り組み、その中から生まれてくるコミュニケーション、優しさとか気配りは大切に温めたいものです。

令和二年四月、運行開始が楽しみです。皆さまぜひ乗ってみてくださいませ。

音楽でまちづくり



勝占東部コミュニティ協議会

我が、勝占東部コミュニティ協議会では「快適で文化的な生活を営めるまちづくり」をめざして



- (一)ふれあい、やすらぎ、潤いのある住みよいまちづくり
- (二)みんなの手を取り合って差別のない福祉のまちづくり
- (三)ボランティア活動の輪を広げ、ぬくもりのある明るいまちづくり
- (四)安全で災害に強いまちづくり
- (五)コミュニティ活動の啓発と人材育成に関すること
- (六)勝占地区の各種団体との連携の強化に関すること
- (七)その他協議会の目的達成のために必要な事項

以上の七項目の内容に関する事業を展開しています。中でも、平成二十七年度の地域の絆づくり支援事業をもとにはじまった音楽活動は、地域の活性化に一役買っています。

音楽事業は、NPO法人音の和企画すだち塾代表の郷田智子先生をお招きしての「音楽サークルラブリー」、ギター・ウクレレの演奏にのせてみんなであうたう「歌の散歩道」、それぞれの楽器演奏がメインの「チェリーガガ」、



それぞれ毎月一回の活動です。令和元年九月十六日（祝）に開催された敬老会では、論田・大原地区あわせて百七名の方が参加されました。来賓・ボランティアを含めると百八十九名でした。わがまちの一大行事である敬老会のアトラクションでも「歌の散歩道」「チェリーガガ」の出演で、会場は大いに盛りあがりました。

また音楽だけではなく脳トレあり、懐メロあり、リクエスト曲ありと、みなさんとお



ても生き生きと過ごされています。これからも音楽から地域の和を広げていき、安全で災害にも強いやさしいまちになればと願っております。

多家良中央コミュニティまつりを終えて

多家良中央コミュニティ協議会
会長 橋 榮一

昨年、十月二十七日（日曜日）に第十九回多家良中央コミュニティまつりが開催され、例年以上の賑わいでした。午前中は児童館祭りや、かわいい歌踊りと模擬店で楽しい時間を過ごしました。午後

は館内での演芸会で、保育所園児によるかわいい歌や踊り、宮井小学校ブラスバンド部の素晴らしい演奏、日本舞踊、カラオケと日頃の練習の成果を存分に披露され、観客の皆さまを魅了してくれました。また、別の会場では写真展が開催され、こちらも大好評でした。すべて地元の写真愛好家の作品で秀作揃い、見学いただいた皆さま方からは「レベルが高い作品ばかり！」とのお声をいただきました。地元の「まんじ連」の阿波踊りをフィナーレに、演芸会を好評のうち

に無事終了しました。最後の最後はお楽しみ抽選会で、今回は景品に地元の商品も加え、皆さま方には喜んでいただけ

次回も、芸術祭開催の予定ですので、地域の皆さまの作品を奮って出品していただき、「全員参加のコミュニティまつり」を目標にしていこうと考えておりますのでご協力よろしく願います。最後にありがとうございました。盛大に開催され好評のうちに終わることができましたこと、役員並びに参加いただいた皆さま方に厚く感謝し、お礼申し上げます。



コミュニティまつりでの抽選会の様子

校歌が示す昭和地区

フレンドリーしようわ編集委員

谷崎 範子

「園瀬の川に昇る日の」

昭和小学校校歌にあるように昭和地区は園瀬川と新町川に囲まれ、時折海の香りがする町です。

その昔、津田橋の北詰め付近から南昭和町一帯は「南斎田の塩浜」と呼ばれる塩田で、「入浜式塩田」が広がっていました。最初、塩田の面積は約三十町歩（約三十ヘクタール）でしたが、藩の収入を増やすため製塩業者に保護政策を取り推奨した結果、年を追って塩業は盛んになりました。

江戸時代から栄えていた塩田も、明治、昭和と都市化が進むにつれ廃田が進み、昭和三十四年十二月姿を消しました。その後近代的な鉄筋アパートや商店、民家が建ち並び、広々とした昔の面影は無

くなりました。

塩業と農業の神と祀られていたのが塩釜神社（昭和町七丁目）で、祭神は奥津彦命と奥津姫命。奥州の塩釜神社から分霊されました。明治八年神社境内の塾舎を修繕し、昭和小学校の前身「成功枝栄小学校」が創立されました。その後改修と校名の変更を重ね、現在地（昭和町五丁目）に新校舎が建てられました。

「眉山の緑さやかにも」

富田中学校校歌にあるように昭和地区から見える眉山は、四季それぞれの表情があり心が洗われます。中でも西日本一広い（諸説あり）運動場から見る眉山が一番美しいです。また校門を入るとイチヨウ並木があり、初秋にはぎんなんが実り季節感が増します。こ

のイチヨウ並木は東京大学赤門をイメージして植樹したといわれています。

富田中学校が現在の地に建つまでの歴史は苦難の連続でした。昭和二十二年、開校式は富田小学校で行われ、間借り生活のスタートでした。間借りの不自由さから、保護者や教員が独立の用地獲得に奔走しました。万代新田、廃塩田埋め立て、南仲之町など候補に挙がりましたが、旧医学専門学校跡しかない不転の決意で掛け合い、昭和二十四年ついに現在地に移転しま

した。

道路建設に伴い、立ち退くことになった昭和コミュニティセンターの移転場所は富田中学校正門東。テニスコートは運動場南へ、自転車置き場は校門近くに移転しました。運動場は少し狭くなりましたが、今でも西日本一でしょうか？コミュニティセンター二階から見えるイチヨウ並木と眉山も当然素晴らしいです。

「富田中学校五十年史」
（昭和コミュニティ協議会）



昭和地区から見える眉山



富田中学校校門のイチヨウ並木

編集後記

新年明けましておめでとうございます。いよいよ今年も東京オリンピック・パラリンピックの年となりました。

徳島市長は「『徳島市まちづくり総合ビジョン』の実現に努力し、コミュニティと協力していきましよう。」と呼びかけています。島田会長からは減災についてのコミュニティの取り組みをお願いしております。昨年の徳島市コミュニティまつりは佐古地区で行われ、大変盛り上がりました。

住吉・城東地区の大岡川さくら緑地を育成する会や国府地区の伝統芸能の継承、上八万地区のコミュニティバスの発車の実現、勝占東部地区では音楽活動、多家良中央地区のコミュニティまつり、昭和地区の地域の歴史から地域おこしなど、各地域の活動を参考に各地域で令和二年も活力ある地域づくりを盛り上げていきたいと思います。

令和二年が皆さまにとって良い年になりますよう心からお祈りいたします。

（大川良文 記）